

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2025年 第38週（9月15日～9月21日）

## 今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

### 定点把握感染症

「インフルエンザ 流行期入りの目安を超える」

第38週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,607例であり、前週比16.5%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.01、1.92、1.25、1.08、0.95である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比15%減の557例で、中河内4.11、南河内3.94、北河内3.82、大阪市南部3.41、豊能3.14であった。

RSウイルス感染症は5%減の356例で、大阪市北部4.54、北河内3.00、大阪市東部2.50である。

流行性角結膜炎は30%増の65例で、中河内6.80、大阪市南部2.00、堺市1.80であった。

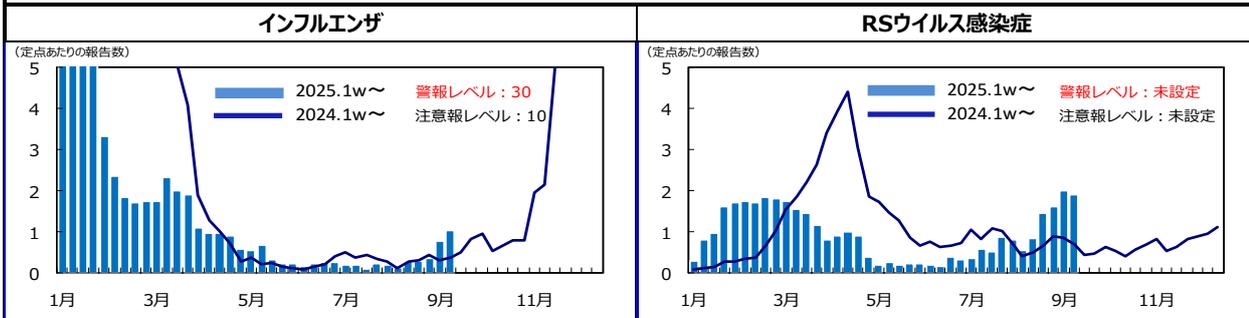
伝染性紅斑は36%減の199例で、南河内2.06、中河内2.00、北河内1.59である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は20%減の175例で、堺市1.29、中河内1.26、南河内1.25であった。

インフルエンザは35%増の306例で、定点あたり報告数は1.05である。大阪市西部2.33、泉州2.15、北河内1.81、大阪市北部1.25、南河内1.13であった。大阪府で流行期入りの目安となる定点あたり報告数1を超えた。

新型コロナウイルス感染症は28%減の1,410例、定点あたり報告数は4.85で、北河内8.57、泉州5.39、豊能4.83、大阪市西部4.67、堺市4.56である。

急性呼吸器感染症（ARI）は14%減の10,153例、定点あたり報告数は34.89であった。南河内50.50、北河内48.05、中河内41.62、泉州36.45、堺市36.40である。



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第38週9月15日～9月21日）

第38週の順位	第37週の順位	感染症	2025年 第38週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2024年 第38週の 定点あたり 報告数	2025年第38週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.01	15%減	2.74	1歳_17%
2	2	RSウイルス感染症	1.92	5%減	0.68	1歳_35%
3	5	流行性角結膜炎	1.25	30%増	0.19	20歳以上_48%
4	3	伝染性紅斑	1.08	36%減	0.03	5歳_22%
5	4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	20%減	1.71	6歳_13%
参考		インフルエンザ (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	1.05	35%増	0.36	10-14歳_22%
参考		新型コロナウイルス感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	4.85	28%減	2.58	10-19歳_25%
参考		急性呼吸器感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	34.89	14%減	-	1-4歳_38%

2025年第15週から急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)サーベイランスが開始となりました。

2025/26年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ（[定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報](#)）をご覧ください。

### 第38週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

**全数把握感染症**

**腸管出血性大腸菌感染症**

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ペロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期において、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。

[腸管出血性大腸菌感染症 \(大阪府感染症情報センター\)](#)  
[腸管出血性大腸菌感染症 \(詳細版\) \(国立健康危機管理研究機構\)](#)

#### 年別累積報告数 (大阪府)

**表 2. 大阪府全数報告数 (2025年 第38週9月15日～9月21日)**

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内市町村								府内累積報告数	
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市		
3類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症</b>	<b>13</b>			1				1	1	10	151
4類感染症	レジオネラ症 (肺炎型)	2	1							1		103
	レジオネラ症 (ポンティアック熱型)	1									1	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2						1		1		75
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1									1	73
	侵襲性肺炎球菌感染症	1			1							251
	梅毒	7		1	1		2				3	1,251
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1									7
	百日咳	28	5	2	5	2	5			4	5	2,834
結核 (2025年7月分)	<b>結核 新登録患者数：94名</b> (内 肺・喀痰塗抹陽性 28名) (府内累積報告数 679名、内 肺・喀痰塗抹陽性 225名)											

(2025年9月23日 集計分)